

社会福祉法人永山会

令和3年度事業計画

【法人本部】

令和3年度は社会福祉制度改革以来、初めての評議員改選の年を迎えることになる。

定款の定める通り、「評議員選任・解任委員会」を開催し、切れ目なく新評議員を選任する。また、理事、監事も同時に改選となるため本部機能の強化が求められる。

令和2年度は、コロナウィルス感染拡大により、さまざまな自粛を余儀なくされ、やむなく恒例行事を中止し、家族の面会を制限した。また、急速に感染が拡大したため、マスク、消毒用アルコールなど衛生資材の確保に苦勞することとなった。今後も感染拡大防止に向けた新たな衛生管理体制の構築と自然災害、大規模災害に備えた備蓄の調達などリスク対策を進める。

昨年から取り組んでいた「働き方改革」を推し進め、働く職員たちが個々の事情に応じ働き方を選択できるように就業規則を見直す。また並行してキャリアパスに基づいた資格取得、研修会への参加、役職者への登用、資格手当の見直し等、魅力ある職場環境を構築し職員の定着率を高める。

財政面では令和3年度は介護報酬が改訂される。基本報酬は、わずかに引き上げられるものの通所サービスと施設サービスの加算が基本報酬に包括化されている。今後は加算要件に利用者の情報をデータ化し、科学的介護の取り組みを推進し、介護サービスの質の向上を図ることが求められることから、高品質のサービス提供に努め、利用者や家族が安心して利用することが出来る事業運営を目指す。

感染症拡大を防ぐための長期自粛生活による介護サービスの利用控えや、経済活動への影響による景気衰退も懸念されるため、情報を収集に努め情勢の変化に備える。令和2年度に達成できていない、そせい苑デイサービス、まどかⅡ番館デイサービス、しがそせい苑ショートステイの収益面の改善を図る。

施設整備では、そせい苑、しがそせい苑、まどかの経年劣化に伴う不具合を適切に把握し、必要に応じて修繕する。

感染症拡大により低下した地域活動を支援し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう関係機関や地域役員、行政と連携し地域包括ケアシステムを推進する。

利用者の処遇については、法令を遵守し法人の基本理念である『明るく、楽しく、美しく』に基づき、利用者一人ひとりの尊厳ある生活を守り、自律した生活支援に努め、日常生活を満足して暮らしていただける施設運営を目指す。

1. 長期目標（5か年）

1. 社会福祉法の改正に基づきガバナンスの強化及び透明性の確保に努める。
2. 利用者の自己実現の達成を目指す。
3. 職員の適正やキャリアに沿った教育体制を構築し人材の育成を図る。
4. 法令を遵守し安定した施設経営を心掛け、各サービス事業所が無駄をなくし資源の節約に努める。

2. 中期計画（3か年）

1. 事業運営の効率化を図り法人経営の安定を図る。
2. 活発な事業運営を展開するとともに、若手職員を役職に登用し次世代管理職を育成する。
3. キャリアパスに沿った新人・現任研修や中途採用者また、派遣職員の研修の充実を図る。
4. 地域や家族との結びつきを重視し積極的な交流を進める。
5. 職員雇用については働き方を選択できるようなシステムを構築し、新たな雇用の方法を考える。

3. 令和3年度重点課題

- (1) 安定した経営(財務の安定)
- (2) 感染症や自然災害に強い施設づくり
- (3) 未来に向けた人材の確保と職員教育

4. 令和3年度行動目標

- ① 感染症及び自然災害のリスク対策を進める。
- ② 大規模災害に備えた訓練と準備、行政や地域との災害時の協力体制を構築する。
- ③ 利用者が快適に過ごせるよう行き届いた清掃管理に努める。
- ④ そせい苑デイサービス、まどかⅡ番館デイサービス、しがそせい苑ショートステイの稼働率向上を重点課題とする。
- ⑤ 広報紙やホームページを活用し、施設の情報を開示するとともに、家族に利用者の暮らしを伝える
- ⑥ サービス向上アンケートや第三者評価、外部評価の実施により、利用者や家族の要望や満足度を把握しサービス向上に取り組む。
- ⑦ 地域住民との交流や地域の学生、ボランティアを受け入れ、地域福祉の拠点として法人の公益性を高め地域社会に貢献する。
- ⑧ キャリアパス要件に沿った研修や技術を習得し、意欲ある職員を役職者に登用する。
- ⑨ ハローワークやホームページ、学校説明会等を有機的に活用し、派遣職員を減らし、正規職員の雇用に努める。各事業所とも派遣職員を10%減らす事を目標とする。
- ⑩ 介護保険法や老人福祉法、高齢者虐待防止法について研修などで繰り返し学び、ヒューマンエラーや不正な行為を根絶する。
- ⑪ サイバー犯罪に対応できるマニュアル及びセキュリティを強化する。

【事業所名】 特別養護老人ホーム そせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 誤嚥性肺炎や転倒による骨折での入院が増えないよう利用者をアセスメントしその状態に応じたケアを実践し、目標稼働率 98%を維持する。
- (2) 令和 3 年度介護報酬改定に伴い、算定できる新設の加算については算定要件に基づく人員・環境等の整備を行い、新規加算の取得、現状取得加算の維持に努め収益面の増入を目指す。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 感染症や災害への対応力を強化し、研修の実施等に加え、訓練（シミュレーション）を実施する。施設の持つ専門性を生かし、地域住民との密接な連携体制について検討する。
- (2) 福祉避難所としての役割を果たす。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 介護技術研修（座学中心）を実施し、介護力の向上に努める。
- (2) キャリアパスに適した外部研修、オンライン研修に職員が参加し、介護の質の標準化や高品質の介護サービスが提供できる体制を整備する。
- (3) 認知症介護実践者研修（2 年以上）、認知症介護実践リーダー研修、OJT 指導者研修（チーフ以上）、苦情解決、感染症、事故予防リスクマネジメントについての研修に参加する。
- (4) 「施設で最後を迎えたい」という利用者や家族の意向を尊重し、人生の最後をその人らしく迎えられるよう看取り介護を多職種で実践する。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 就業時間の変更に伴う業務分担の見直しを行う。適材適所の人員配置を行い残業時間の削減を図り、働きやすい環境を整備する。
- (2) 人事考課表に基づき年 2 回の面談を実施する。
- (3) 勤務体制確保のため、1 ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 「新しい生活様式」を軸に、利用者、職員の健康管理及び罹患が疑われる段階から適切な初期対応を行い、施設内でのクラスター防止に努める。
- (2) 環境整備（消毒、換気など）、予防備品などの備蓄管理を徹底する。
- (3) 感染症のマニュアルに基づき、発生時の訓練（シミュレーション）を実施する

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 災害備蓄（備品・食品）を見直し、利用者及び職員、地域住民（30 人分）3 日分を購入し災

害時に備える。

- (2) 緊急連絡網を活用するためのマニュアル化、訓練（シミュレーション）を実施する。
- (3) 災害への地域と連携した対応について検討する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 利用者の生活に支障がないよう施設建物設備の維持（修繕・更新）を計画する。
- (2) ライフラインである電気・ガス・水道に係る修繕工事については迅速に行う。
- (3) 老朽しているガス設備（コージェネレーションシステム）の更新について検討する。

【事業所名】 そせい苑 ショートステイ

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) ご利用者の状態変化やご家族からの依頼等も含めて、担当ケアマネージャーと随時連絡を取り合う事で、そせい苑ショートステイを利用していけば安心できるといった印象を与える。また、他事業所からの連絡に対しても迅速に対応することで、新規利用者の獲得を安定化させる。新規獲得目標として月2件を維持するとともに、目標稼働率98%を目指す。
- (2) 安心・安全なショートステイを定着させるとともに、家とは違った楽しみがある場所となりうるために、ご利用者がメインで楽しめる企画を月2回行う事で、稼働率の維持・向上に努める。

② サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 介護技術研修（座学中心）を実施し、介護力の向上に努める。
- (2) 質の高い接遇が平均的に行えるように、笑顔で挨拶のできる職員の育成を行うために、マナー研修に職員が出席する。
- (3) 認知症介護実践者研修（2年以上）、認知症介護実践リーダー研修、OJT指導者研修（チーフ以上）、苦情解決、感染症、事故予防リスクマネジメントについての研修に参加する。
- (4) 送迎を安全に行うためにも、運転適性診断を受講したものであっても、年数の経過しているものや、運転技術の未熟な者は再受講する。

③ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 「新しい生活様式」を軸に、職員の健康管理及びご利用者の罹患が疑われる段階から適切な初期対応を行い、施設内への持ち込みを防ぐ事でクラスター発生防止に努める。
- (2) 環境整備（消毒、換気など）、予防備品などの備蓄管理を徹底する。
- (3) 感染症のマニュアルに基づき、発生時の訓練（シミュレーション）を実施する

【事業所名】 そせい苑老人デイサービスセンター

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) アクティビティの強化、日常生活機能に焦点をあてた効果的なプログラムを創出し総合的なサービスの提供に努め、新規利用者を獲得し、目標稼働率 80%を目指す。
- (2) 令和 3 年度介護報酬改定に伴い、ADL維持等加算の算定及び拡充に伴う算定要件の整備、新設の加算については算定要件に基づき人員・環境等の整備を行い、収益面の増入を目指す。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 感染症や災害への対応力強化の観点から研修の実施等に加え、訓練（シミュレーション）を実施する。地域住民との密接な連携体制について検討する。
- (2) 老人会や女性会など地域の各種団体に働きかけ、介護予防教室などを開催する。
- (3) 福祉人材育成のための介護実習生（1 回/年）を受け入れる。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) クラフトやフェルトを用いた作品作りなどの趣味活動、介護予防に重点を置いた機能訓練器具（楽々ふみふみ）や予防型ボードゲームなど楽しみながら、個々に応じた介護予防ができる、多彩なレクリエーションプログラムを提供して過ごして頂く。
- (2) 利用者の状態に応じた在宅生活継続のための生活機能の維持・向上訓練を充実する。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 適材適所の人員配置を行うことで業務の効率化を図り、残業時間を削減し働きやすい環境を整備し、定着を図る。
- (2) 人事考課に基づき年 2 回の面談を実施する。また、キャリアパスに応じた外部研修、オンライン研修に職員が参加し、高品質の介護サービスが提供できる体制を整備する。
- (3) 勤務体制確保のため、1 ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 「新しい生活様式」を軸に、利用者、職員の健康管理及び罹患が疑われる段階から適切な初期対応を行い、施設内でのクラスター防止に努める。検温、手洗い、マスクの着用、送迎時のフェイスシールド着用を徹底し感染症を予防する。
- (2) 環境整備（消毒、換気など）、予防備品などの備蓄管理を徹底し、通所サービス機能を保持し介護サービスを継続する。
- (3) 循環式浴槽の週 1 回の換水、循環経路の粗大汚濁物を除去する装置（ヘアキャッチャ）の清掃、設備の衛生管理を行う。浴槽水の消毒に当たっては、塩素系薬剤を使用し、浴槽水中の遊離残留塩素濃度を測定して、通常 0.4～0.8mg/L に保ち、レジオネラ菌発生を防止する。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 自然災害や大規模災害発生時に、利用者の安全確保に係るマニュアルを家族と連携し作成する。
- (2) 緊急連絡網を活用するためのマニュアル化、訓練（シミュレーション）を実施する。
- (3) 災害への地域と連携した対応について検討する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 利用者の安全確保のための送迎車両メンテナンス・修繕を徹底する。

【事業所名】 そせい苑ケアプランセンター

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 毎月の適正件数の達成とケアマネジメントに係る書類を整備し目標稼働率 92%を目指す。
- (2) 特定事業所加算Ⅱの算定要件である定期情報共有会議や包括・他事業所と連携し、収益面の増収を目指す。
- (3) 認知症介護をする家族をサポートし、サービス利用に繋げる。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 定期的な事例検討会、ケアマネ連絡会へ参加する。
- (2) 医療との連携を密にし、在宅生活継続を支援するネットワーク作りを構築する。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 医療連携のための「橋渡し」「サービス調整力」「コミュニケーション能力」を研鑽する。
- (2) 定期的な事例検討会を開催し、スキル向上に努める。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 年 2 回の面談やミーティングを通じてコミュニケーションを図り、働き甲斐のある職場作りを構築し、離職を防止し人材の育成を図る。
- (2) キャリアパス・個別研修計画に応じた研修へ参加する。
- (3) 勤務体制確保のため、1ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 検温、手洗い、マスクの着用、地域活動、居宅訪問時のフェイスシールドを着用する。
- (2) 環境整備（消毒、換気など）、予防備品などの備蓄管理の徹底。事業・サービス機能を保持し、サービスを継続する。
- (3) 3密を避け、時差出勤し感染を予防する。
- (4) 家族やサービス事業所、医療機関、行政との情報共有を密にし、感染予防に努める。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 緊急連絡網を活用するためのマニュアル化、訓練（シミュレーション）を実施する。
- (2) 災害に備え平常時からのネットワークを構築する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 外勤時に使用する電動自転車など備品のメンテナンスをこまめに行い、劣化を防ぐ。

【事業所名】 下鳥羽地域包括支援センター

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 平成3年度より3職種と体制強化職員のケアプラン担当件数の上限が210件となる。超過した場合は委託料の返還が求められるため、毎月の担当件数の管理を徹底する。
- (2) 事務用品や備品等の管理やメンテナンスに努め資源の節約に努める。
- (3) 業務の効率化を図り残業時間を減らす。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) WEBを利用した地域連携の継続
- (2) お一人暮らし見守りサポーター研修を年に1回開催
- (3) 消防・警察と合同の全戸訪問を各3学区で行う
- (4) 感染予防を重視しながら地域の健康すこやか教室に出向き、社会福祉士を中心に特殊詐欺の注意喚起や法テラスの出張研修依頼を積極的に行う
- (5) 認知症初期集中支援チームとの連携を強化しながら、認知症サポーター養成講座を小学校を含め地域住民との交流のあるクリーニング店・コンビニ・郵便局などに普及啓発をする
- (6) 地域密着型事業所の開催する運営推進会議は必ず出席する

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 研修会に積極的に参加し、資質の向上を図る
- (2) ヒヤリハットを毎月1人1枚書き出し、リスクマネジメントの質を上げる
- (3) 主任介護支専門員を中心に下鳥羽ケアマネ連絡会を通じて地域の居宅介護支援事業所との勉強会や連携を深める。
- (4) 地域住民との交流や地域の学生、ボランティアを受け入れ地域福祉の拠点としての法人の公益性を高め地域社会に貢献する。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

下鳥羽地域包括支援センター 専門職種の人員基準 6名 体制強化職員1名
指定介護予防居宅介護支援事業所下鳥羽地域包括支援センター 介護職員3名

(具体的目標)

- (1) 職員間のコミュニケーションのツールとして定期的な会議の場を持つ(毎月1回)
- (2) 専門3職種の会議を毎月1回と必要に応じて行い専門性を高め、仕事への意欲を高める。
- (3) サンキューカードなどを利用し挨拶やコミュニケーションを充実させる
- (4) リーダーが適宜職員の個人面談を行い、必要に応じたメンタルサポートを行う。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) W I T Hコロナとして、令和3年度も地域に向けた新型コロナウイルス感染対策の普及啓発活動を強化し、さらに法人内においても職員間の感染予防に努める。
- (2) 保健師を中心に地域の介護予防体操の継続・フォローアップについて感染対策を厳重にして行う。また、健康すこやか教室や機関紙などで3密を防ぎ、手洗い・口嗽の実施を呼び掛ける
- (3) 職員間の検温、手洗い、マスクの着用、地域活動、居宅訪問時にフェイスシールドを着用する
- (4) 環境整備（消毒、換気など）、予防備品などの備蓄管理を徹底する。
- (5) 休憩場所を分けるなど3密を避け、時差出勤し感染を予防する。
- (6) 新型コロナウイルス陽性者発生時の動きについてマニュアルに沿って行動する。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 法人内では緊急連絡網を活用するためのマニュアル化、訓練（シミュレーション）を実施する。
- (2) 地域において災害に備え平常時からのネットワークを構築するよう呼びかける。
- (3) 地域ケア会議で2年間課題としてきた地域の防災について、引き続き行政、医師会、消防、警察、地域の介護保険事業者と連携し災害に強いまちづくりの一翼を担う。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 外勤時に使用する電動自転車など役割分担をし、毎日空気入れを行い備品のメンテナンスをこまめに行い、劣化を防ぐ。
- (2) 事務所内をこまめに整頓し備品の破損がないかを確認し、適時修理に出すよう心掛ける。

【事業所名】介護老人福祉施設まどか

① 安定した経営

(具体的目標と指標)

- (1) 予防が出来る肺炎や尿路感染が原因で入院をするご利用者を減らして平均稼働率 96%以上を維持する
- (2) 入所待機者数を常時3名以上確保することで急な退所も空室間隔が短くなるように対応する

② 地域貢献

(具体的目標と指標)

- (1) マスク、消毒薬、フェイスシールド、飛沫予防パーテーションなどを準備し、万全の感染症対策の上、まどかサロンを再開する。開催場所は、ソーシャルディスタンスを確保出来る場所で行う。

③ サービスの質の向上

(具体的目標と指標)

- (1) 感染予防に努めながらご利用者に楽しい企画や取り組みを月1回以上実施する。また、生け花クラブや運動クラブなどのクラブに関しても引き続き実施していく。
- (2) 日常のケアやチームケアの見直しの機会として、第三者評価機関を受審することでサービスの向上を目指す。
- (3) 個別性の高いケアプランを作成し、ご利用者の自律した生活を保障する。
- (4) 職員の介護技術を向上させるため、キャリアパスに沿った外部研修を1人1回以上の参加を計画し、受講する。また、感染予防の観点からオンラインでの参加をしていく。

④ 人材確保と定着

(具体的目標と指標)

- (1) 正職員の雇用を確保するため、インターネット求人を活用し、正職員の割合を向上させるため2名以上採用する。
- (2) 養成校との連携を図り、介護実習生を1名以上受け入れることで入職する機会を増やす
- (3) 勤務体制確保のため、1ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

(具体的目標と指標)

- (1) ご利用者や職員の体調管理を徹底するため、1日2回(朝・夕)にバイタルチェックを実施し、体調不良者を早期に発見・対応することで感染症の蔓延を防止する。
- (2) 迅速な感染対応を実施するために感染予防に関する備品の在庫を把握し、1ヶ月間分の在庫を継続して確保出来るようにする。

⑥ 災害対策

(具体的目標と指標)

- (1) 地震や水害などの災害に備え、防災用品や食糧等の備蓄が適正か見直すことで

福祉避難所としての役割を明確にする

(2) 地震や水害を想定した避難訓練を年に1回以上実施する

⑦ 施設の保守、修繕

(具体的目標と指標)

- (1) 機械の故障や修繕が必要になった時は速やかに業者と連携し、ご利用者の生活に支障が出ないように努める
- (2) インターネット社会においてサイバー攻撃から機密情報を守るため、パソコンのセキュリティを強化することでデータ漏洩を防ぐ

【事業所名】短期入所生活介護まどか

① 安定した経営

(具体的目標と指標)

- (1) 他事業所の訪問活動を月 1 回行い、FAX での空所状況も週に 2 回以上送信することで月平均稼働率 85%以上を目指す
- (2) 給付管理を正確に行い、チェック体制を再構築させ、給付返戻や請求管理を徹底する

② 地域貢献

(具体的目標と指標)

- (1) まどか特養と協働し、まどかサロンを運営する事で地域との関係性を構築する
- (2) ショートステイ部会や地域の会議に参加し、地域の情報を施設内で共有し施設内で地域との繋がりを強化する。

③ サービスの質の向上

(具体的目標と指標)

- (1) ご利用者のニーズを把握するために、ご利用者やご家族様にアンケートを実施し、サービス向上に努める。
- (2) 職員の接遇に対する勉強会を月 1 回実施する。
- (3) 認知症ケアを実践するため、認知症実践者研修に 1 名参加する。また、研修報告をチーム内で行い、認知症ケアに関連する取り組みを 1 つ実践する。
- (4) 職員の介護技術を向上させるため、キャリアパスに沿った外部研修を 1 人 1 回以上の参加を計画し、受講する。また、感染予防の観点からオンラインでの参加をしていく。
- (5) 勤務体制確保のため、1 ヶ月前に勤務表を作成する。

④ 人材確保と定着

(具体的目標と指標)

- (1) 正職員雇用を促進するために、インターネット求人の活用を行い、全職員に対して正職員の割合を 10%以上あげる。
- (2) 介護技術のチェック表を活用し、新人育成をプログラム化することで統一した育成が出来るようにする。

⑤ 感染症対策

(具体的目標と指標)

- (1) 入退所の時に体調確認票を活用し、入所時に検温やご利用者やご家族の体調を確認することで感染症を施設内に持ち込ませない。
- (2) 感染症マニュアルに基づいたケアを行い、ユニット内の椅子やテーブル、トイレなどを 1 日 3 回以上、アルコールで消毒し感染予防に努める。

⑥ 災害対策

(具体的目標と指標)

- (1) 地震や水害などの災害に備え、防災用品や食糧等の備蓄が適正か見直すことで

福祉避難所としての役割を明確にする

(2) 地震や水害を想定した避難訓練を年に1回実施する

⑦ 施設の保守、修繕

(具体的目標と指標)

- (1) 施設内での物品の故障や買い換えが必要になった時は速やかに業者と連携し、ご利用者の生活に支障が出ないように努める。
- (2) インターネット社会においてサイバー攻撃から守るため、パソコンのセキュリティーを強化することでデータ漏洩を防ぐ。

【事業所名】まどかⅡ番館 特別養護老人ホーム

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 骨折、誤嚥性肺炎を予防し、年間稼働率98%以上とする。
- (2) 介護報酬改定に伴う新規加算を取得し、介護保険収入の増収を目指す。
- (3) 正職員を雇用し、派遣職員率を削減、人件費率60%を目指す。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 運営推進会議の開催方法を再検討し、地域住民と施設間の情報共有の質を上げる。
- (2) 災害時における、施設での地域住民の受け入れ態勢を構築する。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 毎月ユニット会議で業務改善、ケアの確認を行い、業務の標準化とリスクマネジメントを強化する。
- (2) 年間2回のサービス向上アンケート結果を分析し、迅速な対応と次回までの取り組みにつなげる。
- (3) 看取り介護を全職種全職員が学び、家族と同じ目線で寄り添うケアを目指す。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) キャリアパス制度、人事考課表に則り、年2回の面談を行い目標の設定を行う。
- (2) ユニットごとの行事の企画、ユニットごとの目標に応じた勉強会をユニット会議で開催し、職員間のコミュニケーションの活性化を行い離職の防止をする。
- (3) オンライン研修などの情報から、外部研修への派遣を全職員に行い、全体研修での報告会を実施する。
- (4) 勤務体制確保のため、1ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 職員の健康管理を徹底し、感染症を予防する。ご入居者の体調変化を早期発見。嘱託医、看護師、介護士、介護支援専門員などがチームとして迅速に対応する。
- (2) 施設内感染症の発生を想定したシミュレーション勉強会を実施し、より実践的な感染対策に関する知識の習得をする。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 災害備蓄品、必要物品を完備し、3ヵ月に1回、在庫確認と不備の確認を行う。
- (2) ライフラインの停止を想定した訓練を年2回（夏・冬）実施する。
- (3) 自然災害や大規模災害発生時に、利用者の安全確保に係るマニュアルを家族と連携し作成

する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 事務員と連携し、備品管理、在庫管理を行い、無駄と不足をなくす。
- (2) ユニットごとに備品の取り扱いを丁寧に行い、各箇所の清掃作業も徹底する。

【事業所名】まどかⅡ番館 グループホーム

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 掛かり付け医との連携を強化、ご入居者の体調不良や緊急時の個別の対応方法を明確にし、稼働率100%を目標にする。
- (2) 介護報酬改定に伴う新規加算を取得し、介護保険収入の増収を目指す。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 運営推進会議の開催方法を再検討し、地域住民と施設間の情報共有の質を上げる。
- (2) 災害時における、施設での地域住民の受け入れ態勢を構築する。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 専門職（他部署・外部など）によるリハビリ、積極的な外出機会を確保し、ご入居者のQOL向上を目指す。
- (2) 認知症の進行緩和を目的としたレクリエーションを実施し、個別・グループなど、ご入居者個々に応じて柔軟に対応する。
- (3) リハビリ、認知症ケアに係る外部研修に職員を1回以上派遣し、全体研修での報告会を実施する。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) オンライン研修などの情報から、外部研修への派遣を全職員に行い、全体研修での報告会を実施する。
- (2) キャリアパス制度、人事考課表に則り、年2回の面談を行い目標の設定を行う。
- (3) 離職の防止、既存の派遣の継続契約を実施し適切な人員配置を維持する。
- (4) 勤務体制確保のため、1ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 職員の健康管理を徹底し、感染症を予防する。手洗い消毒などのマニュアルを常に更新し、ご家族が入居を希望する施設を目指す。
- (2) 施設内感染症の発生を想定したシミュレーション勉強会を実施し、より実践的な感染対策に関する知識の習得をする。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 災害備蓄品、必要物品を完備し、3ヵ月に1回、在庫確認と不備の確認を行う。
- (2) ライフラインの停止を想定した訓練を年2回（夏・冬）実施する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 事務員と連携し、備品管理、在庫管理を行い、無駄と不足をなくす。
- (2) ユニットごとに備品の取り扱いを丁寧に行い、各箇所の清掃作業も徹底する。

【事業所名】まどかⅡ番館 デイサービス

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 広報活動を活性化させ、登録者を増加、年間平均稼働率70%を目指す。
- (2) 介護報酬改定に伴う新規加算を取得し、介護保険収入の増収を目指す。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 介護予防教室や一日デイサービスなどを開催し、巣ごもり高齢者の介護予防に努める。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 個別及びグループリハビリ、クラブ活動の充実、趣味活動の持ち込みなどで充実した時間を過ごせる環境をつくる。
- (2) 年間2回のサービス向上アンケート結果を分析し、迅速な対応と次回までの取り組みにつなげる。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) オンライン研修などの情報から、外部研修への派遣を全職員に行い、全体研修での報告会を実施する。
- (2) キャリアパス制度、人事考課表に則り、年2回の面談を行い目標の設定を行う。
- (3) 行事の企画、目標に応じた勉強会をデイサービス会議で開催し、職員間のコミュニケーションの活性化を行い、離職を防止する。
- (4) 勤務体制確保のため、1ヶ月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 職員の健康管理を徹底し、感染症を予防する。ご利用者の体調変化への早期発見、情報収集など、迅速に対応する。
- (2) 施設内感染症の発生を想定したシミュレーション勉強会を実施し、より実践的な感染対策に関する知識の習得をする。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 災害備蓄品、必要物品を完備し、3ヵ月に1回、在庫確認と不備の確認を行う。
- (2) 火災・地震を想定した訓練を年2回実施する。
- (3) 自然災害や大規模災害発生時に、利用者の安全確保に係るマニュアルを家族と連携し作成する。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 事務員と連携し、備品管理、在庫管理を行い、無駄と不足をなくす。
- (2) 備品の取り扱いを丁寧に行い、各箇所の清掃作業も徹底する。

【事業所名】 特別養護老人ホームしがそせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 長期入院になる恐れがある誤嚥性肺炎や骨折事故を予防し入院者を増やさない。
- (2) 目標稼働率98%以上維持を目指す。
- (3) 介護報酬改定に伴い、新設加算の算定条件に基づき人員や環境等の整備を進める。
- (4) 備品管理や在庫管理、業者との価格交渉を行い無駄な出費を抑える。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) いきいきサロンあけとみ再開にむけて飛沫感染予防等（パーテーション、ソーシャルディスタンス）の感染予防対策に努める。
- (2) 地域自治会との交流を継続して防災会議や消防訓練を積極的に参加する。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 介護技術講習の実施。
- (2) 年2回サービス向上アンケートを活用し、課題となったサービス内容を振り返り、業務の改善や接遇面の改善に繋げる。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 人材の確保、育成、定着についてはキャリアパスに沿った研修会への参加や、職員会議、職員同士の懇談、上司との面談などで本人の希望が実現できるような組織づくりをしていく。
- (2) 業務分担表を作成し業務の見える化を行い、職員の残業を減らし業務の効率化を図る。
- (3) 夜勤業務については職員の負担軽減のために2労働から1労働に変更する。
- (4) 勤務体制確保のため、1か月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 介護・看護職員だけでなく、すべての職員が感染症予防対策について習得できるようにミニ講習会への参加。
- (2) ユニット内を1日2回以上、アルコール消毒し感染予防に努める。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 食料品だけでなく日常的に必要なものを拾い出し、備蓄の一覧表作成し災害時に備える。
- (2) リスクマネジメント委員会で非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、災害時に起こりうる状況を時間軸ごとに想定し対応表を整備していく。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 開設19年を迎えてエアコン更新工事を計画するにあたり利用者の生活に支障がでないように計画表や利用者の処遇マニュアルを作成する。

【事業所名】ショートステイしがせせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) ショートステイの空き情報や施設での行事をケアマネージャーや家族にPRし目標稼働率80%を目指す。
- (2) 派遣職員を見直し、正規職員の雇用率を高める
- (3) 備品管理や在庫管理、業者との価格交渉を行い無駄な出費を抑える。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 重度の認知症の方やその家族が安心して暮らせるまちづくりを行政や医療機関などと連携して進める。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 利用者が「また来たい」思っただけの処遇を目指し、リピーターが増えるサービスを提供する。
- (2) サービス向上アンケートを活用し、課題なったサービス内容を振り返り、業務の改善や接遇面の改善に繋げる。
- (3) ケアプランに沿った総合的な支援で利用者の機能向上を努める。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 人材の確保、育成、定着についてはキャリアパスに沿った研修会への参加や、職員会議、職員同士の懇談、上司との面談などで本人の希望が実現できるような組織づくりをしていく。
- (2) 業務分担表を基に業務の見える化を行う。
- (3) 夜勤業務については職員の負担軽減のために2労働から1労働に変更する。
- (4) 勤務体制確保のため、1か月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 全職員が感染症予防対策について習得できるようにミニ講習会を実施する。
- (2) 施設に感染症を「持ち込まない」を徹底し、感染拡大が起こらないように利用者家族やケアマネージャーとの情報共有や連携を強化していく。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) リスクマネジメント委員会で非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、災害時に起こりうる状況を時間軸ごとに想定し対応表を整備していく。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 開設 19 年を迎えてエアコン更新工事を計画するにあたり利用者の生活に支障がでないように計画表や利用者の処遇マニュアルを作成する。

【事業所名】 デイサービスしがそせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 自立支援に向けた『エール』について内容の見直しを行い、目標稼働率 80%を目指す。
- (2) 介護報酬改定に伴い、「CHASE」「LIFE」への情報提供に対する加算を取得する。
- (3) 備品管理や在庫管理、業者との価格交渉を行い無駄な出費を抑える。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) デイサービスの専門性を生かし、介護職員、看護職員、機能訓練指導員を地域の研修会に派遣し介護予防をすすめる。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 自宅訪問やサービス担当者会議に参加し、情報共有し、デイサービスでのリハビリを充実させる。
- (2) 利用者一人ひとりにデイサービスでの過ごし方を確認し、満足の行く時間を過ごして頂けるようにする。
- (3) 利用者一人ひとりが望む生活を実現するために個別性の高い通所介護計画を作成し在宅で生活されている方が住み慣れた生活ができるよう支援する

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 接遇マナーの徹底。
- (2) 介護技術の向上をめざす。
- (3) 勤務体制確保のため、1か月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染対策

具体的目標と指標

- (1) 全職員が感染症予防対策出来るようにミニ講習会を実施する。
- (2) 感染拡大が起こらないように利用者家族やケアマネージャーとの情報共有や連携を強化していく。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 利用中に大規模地震が起こることを想定した訓練を繰り返し行い、家族との連絡方法等課題となることを検討する。
- (2) リスクマネジメント委員会で非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、災害時に起こりうる状況を時間軸ごとに想定し対応表を整備していく。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 感染拡大防止対策として洗面所の蛇口を手動から自動へ改修する。

【事業所名】居宅介護事業所しがせせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 事業運営の進め方や地域への広報、地域での役割、人員配置を見直し、目標稼働率98%を目指す。
- (2) 後進育成を図り事業所の若返りを行う。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) いきいきサロンあけとみ再開にむけて感染症対策を徹底した企画立案の準備をすすめる。
- (2) 行政、保健、福祉、医療機関との関係強化を図る。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 地域ニーズや地域課題の把握のために事例検討会やケアマネ連絡会に参加する。
- (2) 専門職としての知識の習得とスキルアップの為に研修に参加し、伝達し共有する。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 様々な制度に対応できるような内外の研修に参加し、より良いプランを作成するために自己研鑽に努める。
- (2) 介護保険改正の内容を熟知、利用者が地域で自律して暮らせるケアプランの作成に役立てる。
- (3) 勤務体制確保のため、1か月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 全職員が感染症予防対策出来るようにミニ講習会を実施する。
- (2) 事業者の集いや研修会への参加、利用者宅訪問などにZOOMなどのオンラインを活用する。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) リスクマネジメント委員会で非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、災害時に起こりうる状況を時間軸ごとに想定し対応表を整備していく。

【事業所名】 ケアハウスしがそせい苑

① 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 守山市・野洲市・栗東市内の居宅介護支援事業所への広報活動を行い、目標稼働率100%を目指す。
- (2) 利用者一人ひとりの病気や変化などの把握を正確に行い、早期発見・早期治療に努める。

② 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) いきいきサロンあけとみ再開にむけて感染症対策を徹底した企画立案の準備をすすめる。

③ サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) できるだけ長く健康でケアハウスで生活できるよう、介護予防の推進、入居者の機能向上に努める。
- (2) 職員に接遇研修を行う。

④ 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 人材確保や育成、定着についてキャリアパスに沿った研修会への参加や職員会議や面談を通して職員の希望が実現するような風土を作る。
- (2) 勤務体制確保のため、1か月前に勤務表を作成する。

⑤ 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 全職員が感染症予防対策出来るようにミニ講習会を開催する。
- (2) フロアを1日2回以上、アルコール消毒し感染予防に努める。

⑥ 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 災害に備えて備蓄の一覧表や物品を準備していく。
- (2) リスクマネジメント委員会で職員の参集や役割分担等を定めたマニュアルや、災害時に起こりうる状況を時間軸ごとに想定し対応表を整備していく。

⑦ 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 施設備品を点検し、必要な修繕を行い入居者の安全に努める。